



## 学校だより

平成29年7月24日  
佐渡市立前浜小学校・前浜中学校 No. 54  
〒952-3541 佐渡市水津858  
TEL 0259(29)2313 小：E-mail [maehama-es@sado.ed.jp](mailto:maehama-es@sado.ed.jp)  
中：E-mail [maehama-js@sado.ed.jp](mailto:maehama-js@sado.ed.jp)



## 新しい自分になる

前浜中学校 校長 治田 博樹

定期テスト近くの朝、ある生徒に「勉強はどうだ？」と聞くと、「私は生まれ変わったのでがんばります」との答えが返ってきました。

これはいい言葉だと思いました。

かつて、自分はこうだった。こんなにだめだった。だから、一旦リセットして新しく生まれ変わったつもりでがんばろう。そういう気持ちが表れていると感じました。

人間は弱い動物だと思います。つい、楽な方に流されたり、これでいいんだと勝手に決め込んでしまいます。でも、同時に強い動物でもあります。強い意志で何かをやり通すことが可能ですし、新しい自分に生まれ変わることもできます。弱い自分と強い自分と、誰もがそんな自分を持っているのではないのでしょうか。

かつて勤務した学校に、いわゆるつっぱりの男子生徒がいました。髪は金髪に染めてほとんど学校に来ません。暴力や器物破損、飲酒、喫煙で何度も警察のお世話になっていました。そんな彼が中学三年生になったある日、「高校へ行きたい」と言いだしました。小学生の頃からほとんど登校していないので、中学一年生の学習どころか、小学校の計算も漢字も分かりません。それでも、少しずつ教えていくと彼はがんばり始めました。ほとんど毎日、別室に登校するようになり、小学校の問題が全部解けるようになりました。でも、髪は金髪のまま、服装は違反服でした。それでも、彼が新しい自分に生まれ変わろうと努力していることがよく分かりました。きっともらったことがないと思ったので、私は校長ではなかったのですが、がんばった証の賞状を作り手渡しました。今まで見せたことのない笑顔で受け取ってくれました。髪の色や服装が変わらなければ卒業式には出られないだろうな、と思っていましたが、当日、彼は髪を黒く染め、きちんとした服装で出席して卒業証書をいただきました。見事に「新しい自分になった」のです。残念ながら高校へは行けませんでした。建設業で一生懸命働いていると聞いています。

人は新しい自分になることができます。失敗しても何度でも挑戦して新しい自分になれます。それが成長していくことだとも言えます。

この夏、弱い自分とおさらばし、新しい自分になってみませんか。

夏休み前に必ず話をすることがあります。

「絶対に死んではいけない。」

理由は、自分だけの命ではないからです。

何度でも繰り返し、繰り返し、言い続けます。

保護者、地域の皆様、夏休みの間、子どもたちを見守ってくださいますようお願いいたします。



## デイサービスいわゆり訪問

6月14日(水)、**デイサービスセンターいわゆり**を訪問してきました。まず各学級で考えた出し物を発表しました。1・2年生は音読劇、3・4年生は合奏、5・6年生は篠笛の曲です。その後、利用者の方々の肩をもんだり、握手したり、「ゆかいにあるけば」の合唱を披露したりしました。大勢の方々に大きな拍手をもらって大満足の子どもたちでした。



## 生き物調査



6月28日(水)に生き物調査に出かけました。今年から田植えをさせていただいている、椎さんの田んぼをお借りして、その周囲にいる生き物を探しました。ドジョウ、オタマジャクシ、ヤゴ、カワナ、カエル、トンボなどの生き物を見つけることができました。

子どもたちは見つけた生き物の名前や生態をJAの田村さんに聞いて、質問したりじっくりながめたりしていました。



## 【7/6(木) 食育指導】

両津給食センターの佐々木栄養教諭をお迎えして、中学年、高学年の食育指導を行いました。豊富な写真や絵を使って、どの食品にどんな栄養素が入っているか分かりやすく教えてもらいました。また、高学年はバランスの良いメニューを立てる方法を教えてもらいました。子どもたちは、緑のものをもっと食べたいとか、甘いものを取りすぎないようにしたいなど、今後の食生活の改善を考えた感想が見られました。



7月6日に総務委員会主催による**七夕集会**が行われました。

全員で七夕の歌を歌った後に、「ピアノが上手にひけますように」や「アイスクリーム屋さんになれますように」など、一人一人がそれぞれ思い思いの願い事を発表しました。その後、全員で「星探し」や「星とり」などのレクリエーションをして楽しいひとときを過ごしました。願いがかなうといいですね。



# バドミントン新潟地区大会 報告

新潟地区中学校バドミントン大会が、サンテラ佐渡スーパーアリーナを会場に行われ、男子シングルス1名、男子ダブルス1組、女子ダブルス1組が出場しました。久しぶりの地元開催ということもあって、佐渡市内の中学生は選手として出場するだけでなく、補助役員も多く参加し、大会を運営しました。

結果の方は、男子シングルスと女子ダブルスがベスト16、男子ダブルスが一回戦敗退となりました。県大会への出場はなりませんでしたが、たくさんの保護者の方に応援に来ていただきました。ありがとうございました。

男子シングルス	K・T	ベスト16
男子ダブルス	K・M/Y・S	一回戦敗退
女子ダブルス	K・H/K・N	ベスト16



## 職場体験に向けたマナー講座

7月11日(火)6限、NTTソルコ&北海道テレマートの方をお迎えし、中学生を対象としたマナー講座を行いました(当初7月3日に実施する予定でしたが、半数の生徒が欠席したため、ご厚意でこの日に変更してくださいました)。

数多くの学校を回って指導していらっしゃる方なので、美しい姿勢、ハキハキした口調で生徒にわかりやすくお話してくださいました。きちんとした座り方、美しい礼の仕方、あいさつの際の視線や語尾など、明確な理由を添えながら具体的なアドバイスをしていただきました。

その後、指導を受けての実演でした。緊張のせいか、少しぎこちなさもありましたが、田辺さんは各生徒の良い点をほめながら、「ここをこうすると、もっときれいな動きになりますよ」と指摘してくださいました。

8月2日に職場訪問、同29・30日に職場体験を行います。今回学んだことを生かし、充実した経験をしてきてほしいと願っています。



# 頑張った 小中合同体カテスト

6月15日(木)の3・4限、小中合同で体カテストを行いました。4～5名で編成された縦割りグループが、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「立ち幅跳び」「ボール投げ」「50m走」に次々チャレンジしました。

「〇〇さんには負けないぞ〜!」「やった〜、去年より上がった!」など、ライバルと意識している児童・生徒や昨年の自分と競争する真剣な姿に感動しました。そんな頑張りが、普段見ることのできない姿を周囲に見せてくれました。

全ての種目をまわり終わると、いよいよ全校一斉の「シャトルラン」。次第にペースが上がっていく音楽に合わせて行う持久走です。最初はゆっくりで余裕のあった児童・生徒も、時間の経過とともに必死の形相に変わっていきます。一人また一人と追いつかなくなっていく中、最後まで残ったのは川上匠さんでした。全校の応援を背に、記録は131回でした。彼以外にも、素晴らしい数値を出した児童・生徒がおりましたので、ご家庭でも話題にさせていただくことで、来年度の頑張りにつながると思います。よろしくお願いたします。



## 第2回篠笛教室 & 狩野さんのお話

5月29日に引き続き、7月19日(水)に世界的篠笛奏者の狩野 泰一さんをお招きし、第2回篠笛教室を行いました。

今回は篠笛の指導に先立ち、小学校3年~中学校3年を対象とした講演をお願いしました。幼い頃の狩野さんは体が小さく丈夫ではなかったため、それを克服しようと勉強や音楽にのめり込んだそうです。トランペットやギターを覚えた後、大学時代にジャズのドラマーとしてデビューもしました。しかし、留学先のニューヨークで聴いた和楽器の演奏に衝撃を受け、日本人として自分たちの文化を学ぶ必要を感じて鼓童の門をたたかれたそうです。

そうした経験を通して、次のメッセージを児童・生徒に伝えてくださいました。

「自分の好きなことを見つけ、それを突き詰め磨いていくと、すごいことができる。」

「東京やニューヨークでなくても、佐渡から発信できることがたくさんある。」

「日本の文化の素晴らしさを学び、それを伝えていくことで、世界に認められる。」

午後は篠笛の指導をしていただきました。前回から一か月半練習したおかげで、ほぼ全員が前浜囃子を篠笛で吹くことができるようになっていました。今回は、太鼓やチャップ、ごへの担当を決め、いろいろな隊形や動きを試しながら演奏練習を行いました。狩野さんの楽しく分かりやすいアドバイスで、児童・生徒はノリノリで練習に励んでいました。今回の練習をもとに、今後さらに技術に磨きをかけ、お客さんに感動を与える工夫をしていきたいと思ひます。

